



ISO 規格概要資料

ISOコンサルタント 監修



 **ISOプロ**

▶ 1	ISOとは	2
2	ISO9001とは	8
3	ISO14001とは	13
4	ISO22000とは	19
5	ISO27001とは	26
6	ISO45001とは	35
7	ISO取得までの流れ、スケジュール	41
8	ISO取得に必要なコスト	44
9	審査機関について	51
10	お問い合わせ先	56

ISOとは？

スイスのジュネーブにある非営利法人



国際標準化機構

International Organization for Standardization

世界の
さまざまな
標準規格を
策定!

ISO規格＝国際的に共通のルールを定めている

品質・食品などさまざまな分野で規格が存在する



ISO9001

品質マネジメントシステム



ISO14001

環境マネジメントシステム



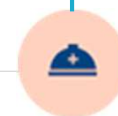
ISO22000

食品安全
マネジメントシステム



ISO27001

情報セキュリティ
マネジメントシステム



ISO45001

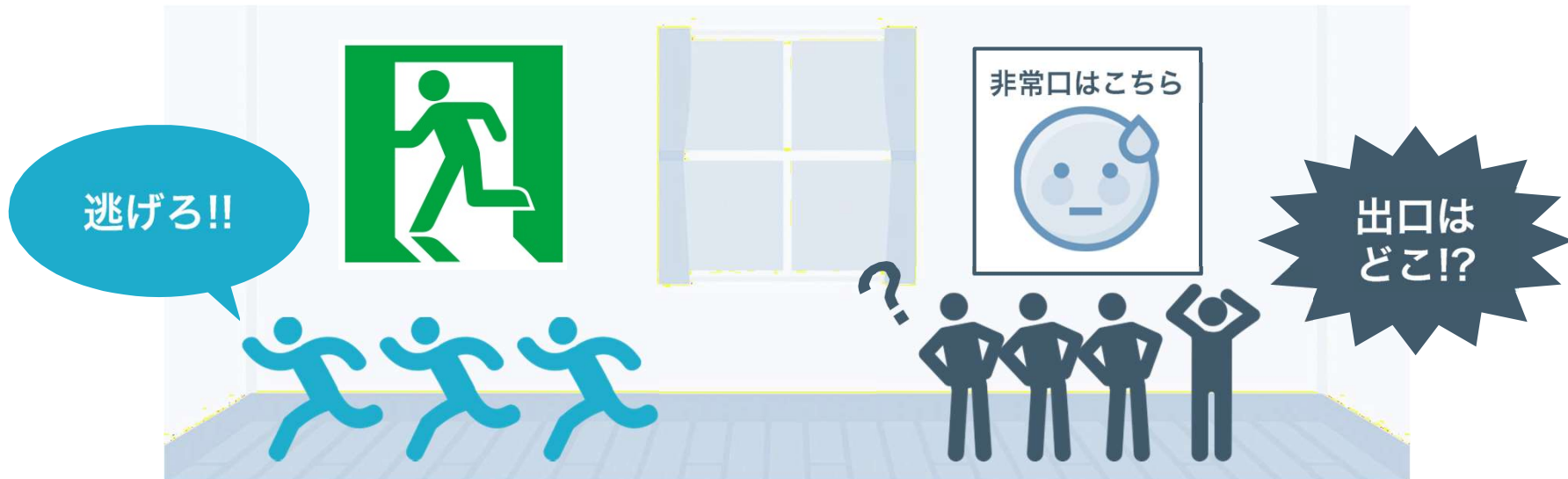
労働安全衛生
マネジメントシステム

※上記規格は一部です

なんでISOは必要とされているの？

📖 例えば

出口のマークが国や地域でバラバラだと…



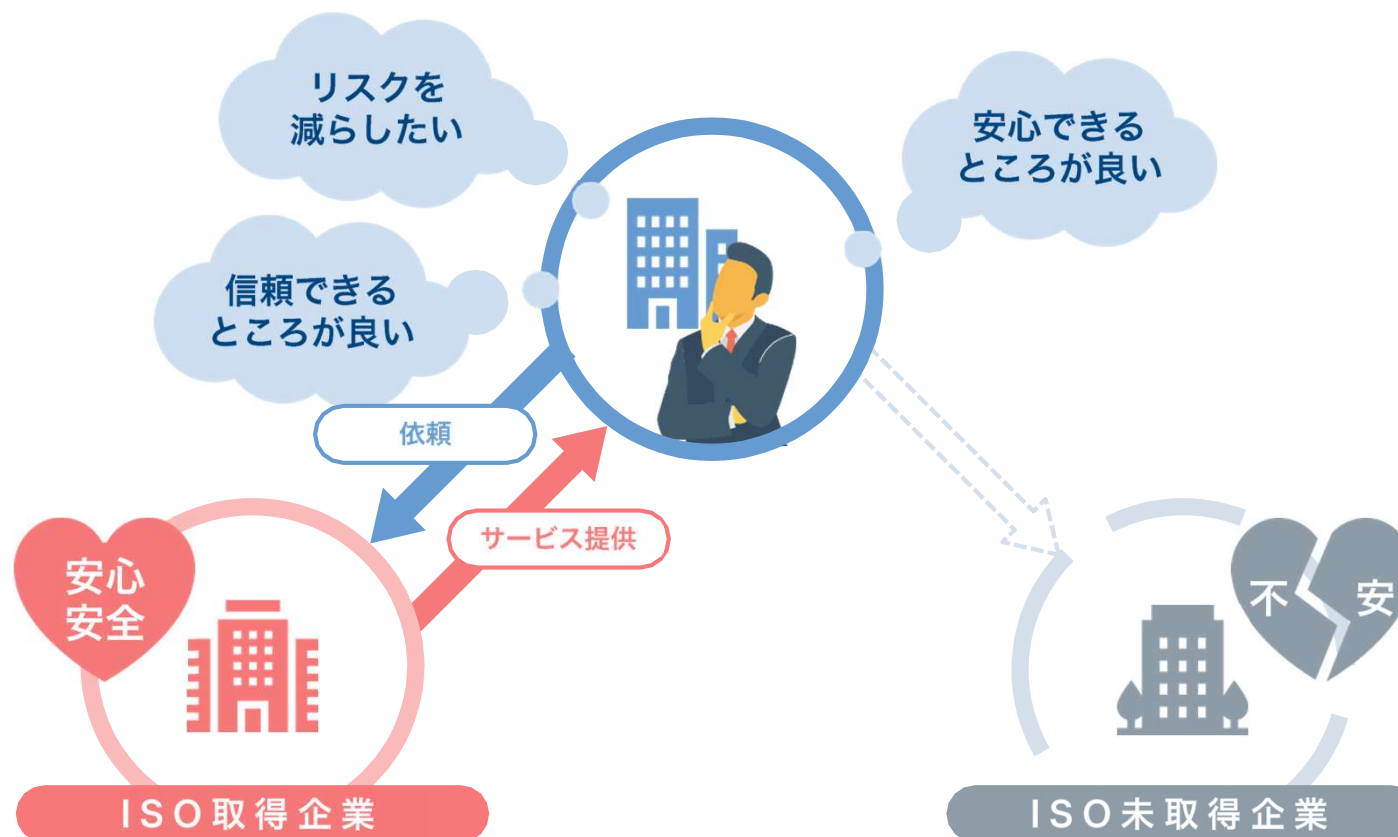
非常時大変なことに!!!!

📝 Comment

ISOで基準を統一することで、誰もがわかりやすい表記、扱いやすいモノを作ることができます。

ISO認証の価値

顧客が安心できる取引の実現



Comment

「ISO取得企業」という安心感からお客様や取引先から選ばれやすくなります。
将来的な取引増が見込め、**売上拡大・事業拡大に繋がっていきます。**

ISO認証のデメリット

例えば

自社の実情に合わせたISOを構築しないと!?



更に!!

不具合や不正、思わぬトラブルに発展する

Comment

デメリットを回避するには、ISOに従業員に浸透させること！
自社の実情に合わせたISOの構築を目指しましょう。

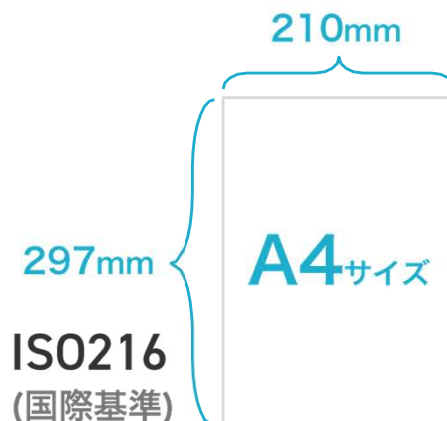


初期構築が重要!



マネジメントシステムだけじゃない! ISOモノ規格

用紙



NOT ISO!

B5サイズ
176mm × 250mm
JIS規格
(国内基準)



案内標識・看板

ISO7001 案内標識
ISO7010 看板



カード

ISO クレジットカード
IEC7810 キャッシュカード



Comment

モノ規格=紙やカードサイズの基準を統一する規格。
マネジメントシステム規格=企業や工場の組織活動を管理する基準を統一する規格。

1 ISOとは

▶ 2 ISO9001とは

3 ISO14001とは

4 ISO22000とは

5 ISO27001とは

6 ISO45001とは

7 ISO取得までの流れ、スケジュール

8 ISO取得に必要なコスト

9 審査機関について

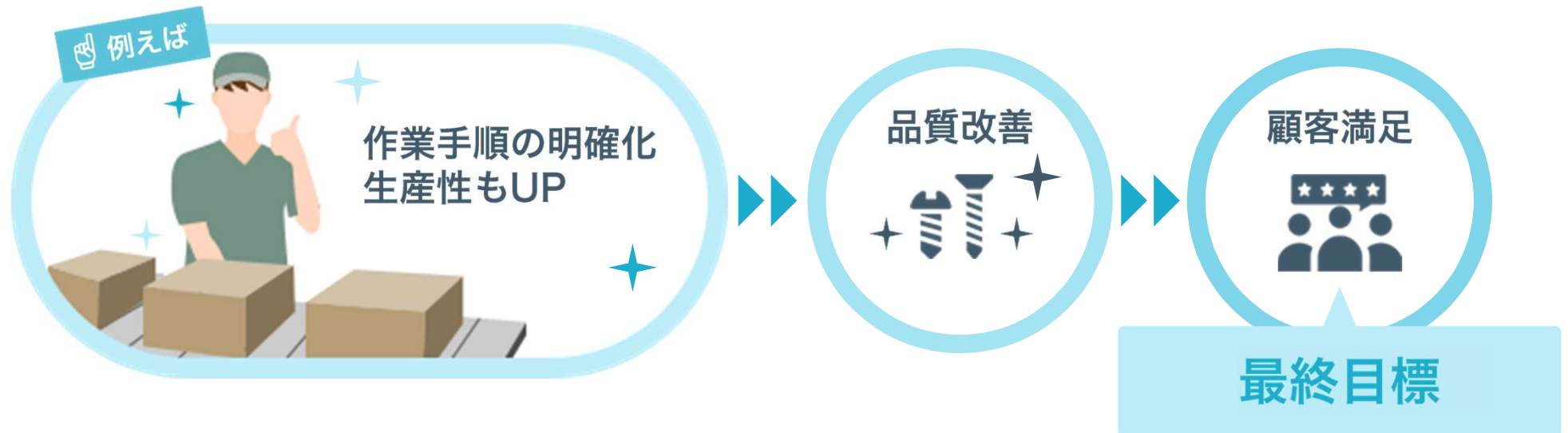
10 お問い合わせ先

ISO9001とは？

国際標準化機構による規格

ISO9001
品質マネジメントシステム

= よりよい製品・サービスを提供する
ための仕組みを評価するもの



Comment

最終目標は「顧客満足」。
品質マネジメント7原則を基盤に、製品・サービスの品質を
継続的に改善し、顧客満足の向上を目指します！

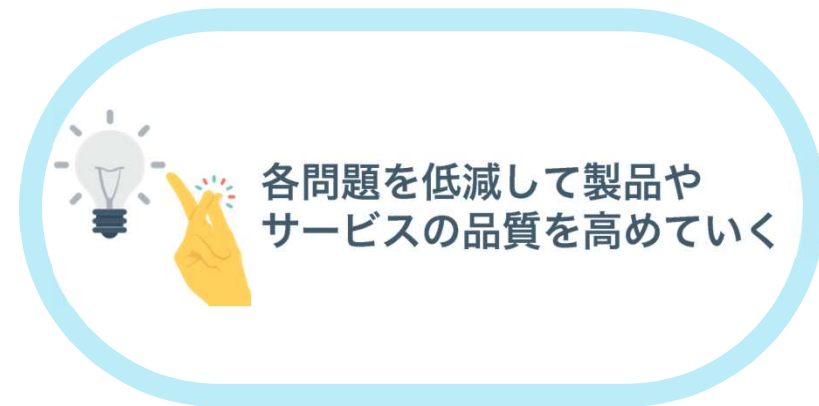
QMS(品質マネジメントシステム)とは？

組織を動かすための仕組みのひとつ

QMS
品質マネジメントシステム

=

より良い製品やサービスの品質を
管理する仕組み



Comment

QMS（品質マネジメントシステム）＝製品・サービスの品質を向上させるための管理する仕組み

ISO9001＝製品・サービスの品質を向上させるための管理システムの要件について国際的ルールを定めたもの

QMSは仕組み、仕組みのルールは**要求事項**、仕組みのルールを定めたものが**ISO9001**です。

ISO9001取得の効果

認証取得の効果

- ✓ 業務効率の改善や組織体制の強化
- ✓ リスクマネジメント
- ✓ 仕事の見える化による業務継承の円滑化
- ✓ 品質保証による社会的信頼や顧客満足の上昇
- ✓ 法令順守(コンプライアンス)の推進
- ✓ 海外企業を含む取引要件の達成、
企業競争力の強化
- ✓ KPI(キーパフォーマンス指標)の管理
- ✓ 継続的な改善による企業価値の向上

Comment



ISO9001認証取得をすることで、社会的信頼、
対外的アピール、顧客満足向上に繋がる効果を発揮します。🌟👍



ISO9001はどんな業種が取得しているの？

ISO9001を取得する主な業種

もともと
製造業の
ための規格



製造業



建設業



サービス業



ITサービス業

製造業を主として、幅広い業種で取得している



ISO9001 と一緒に取られる規格



製造業

ISO14001

環境マネジメントシステム



建設業

ISO45001

労働安全衛生
マネジメントシステム



ITサービス業

ISO27001

情報セキュリティ
マネジメントシステム

Comment

製造業、建設業などでは、**ISO14001(環境)**、**ISO45001(労働安全衛生)**が一緒に取得されることが多く、ITサービス業などでは**ISO27001(情報セキュリティ)**が一緒に取得される傾向にあります。

ISO9001 認証取得と組み合わせることで、**入札や経営事項審査の更なる加点になったり、お客様や取引先からの信用が格段にアップするなどのメリット**があります。



複数規格取得は同時に？段階的に？



同時に取得

段階的に取得

 審査費用	審査工数削減で安くなる！	審査が複数回に分かれるので高くつく！
 マニュアル	0ベースで作れるので楽！	既存のものと整合性を合わせながら作るため負担が大きい！
 コンサル費用	マニュアル作成工数が少ないから安く済む！	マニュアル作成工数が多くかかるため高くつく！



複数規格を取得するなら同時に取得するのがオススメです!!

Comment

将来的に複数規格を取得する可能性がある場合は、同時取得がオススメです。主に下記のメリットがあります。

1 審査費用が安くなる

2 マニュアル作成の工数が減る

3 コンサルティング費用が安くなる

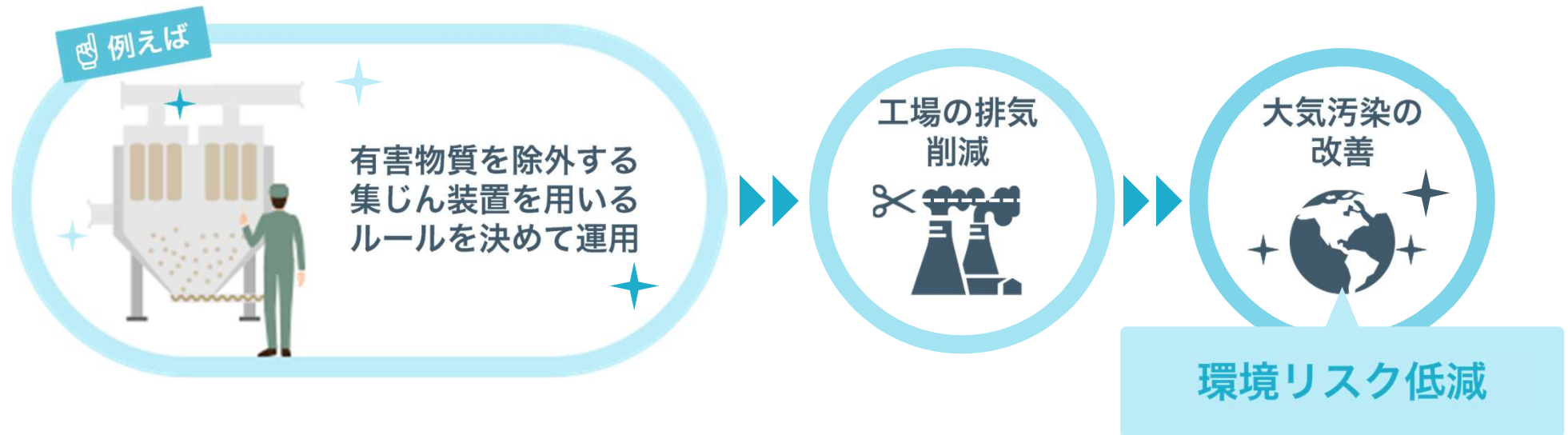
- 1 ISOとは
- 2 ISO9001とは
- ▶ 3 **ISO14001とは**
- 4 ISO22000とは
- 5 ISO27001とは
- 6 ISO45001とは
- 7 ISO取得までの流れ、スケジュール
- 8 ISO取得に必要なコスト
- 9 審査機関について
- 10 お問い合わせ先

ISO14001とは？

国際標準化機構による規格

ISO14001 =
環境マネジメントシステム

環境に影響するリスク低減のための
仕組みを評価するもの



Comment

最終目標は「**環境リスクの低減**」。
環境関連の法令やその他要求事項の順守を基盤に組織が本業を通じて
状況を改善していくことで環境リスクの低減を目指します！

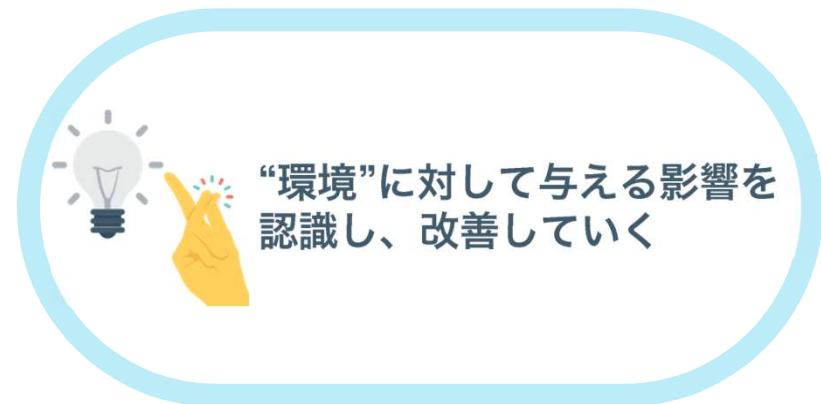
EMS(環境マネジメントシステム)とは？

組織を動かすための仕組みのひとつ

EMS
環境マネジメントシステム

=

環境に影響するリスク低減を管理
する仕組み



Comment

EMS (環境マネジメントシステム) = 環境に影響するリスクを低減するための管理する仕組み

ISO14001 = 環境に影響するリスクを低減するための管理システムの要件について国際的ルールを定めたもの

EMSは仕組み、仕組みのルールは要求事項、仕組みのルールを定めたものがISO14001

ISO14001取得の効果

認証取得の効果

- ✓ 環境リスクの低減・回避
- ✓ 省エネルギー・省資源によるコスト削減
- ✓ 法令順守(コンプライアンス)の推進
- ✓ グリーン調達への対応ができる
- ✓ KPI(キーパフォーマンス指標)の管理
- ✓ 継続的な改善による企業価値の向上
- ✓ 海外企業を含む取引要件の達成、企業競争力の強化
- ✓ 顧客や取引先の信頼が得られる

 Comment



ISO14001認証取得をすることで、社会的信頼、対外的アピール、顧客満足向上に繋がる効果を発揮します。🌟👍



ISO14001はどんな業種が取得しているの？

ISO14001を取得する主な業種

EU法
対応のため



建設業



商社



製造業



サービス業

建設業や商社を主とし、製造業が多い
サービス業なども増えてきている

Comment

商社の場合は、有害物質を制限する「**RoHS指令**」や化学物質の取り扱いを定めた「**REACH規則**」などEU法対応のために取得する傾向があります。
また、製造業の場合は取引先の商社が環境負荷の少ない商品を調達する「**グリーン調達**」を行うにあたり取得を求められることがあります。



ISO14001と一緒に取られる規格



製造業

ISO9001

品質マネジメントシステム



建設業

ISO45001

労働安全衛生
マネジメントシステム

Comment

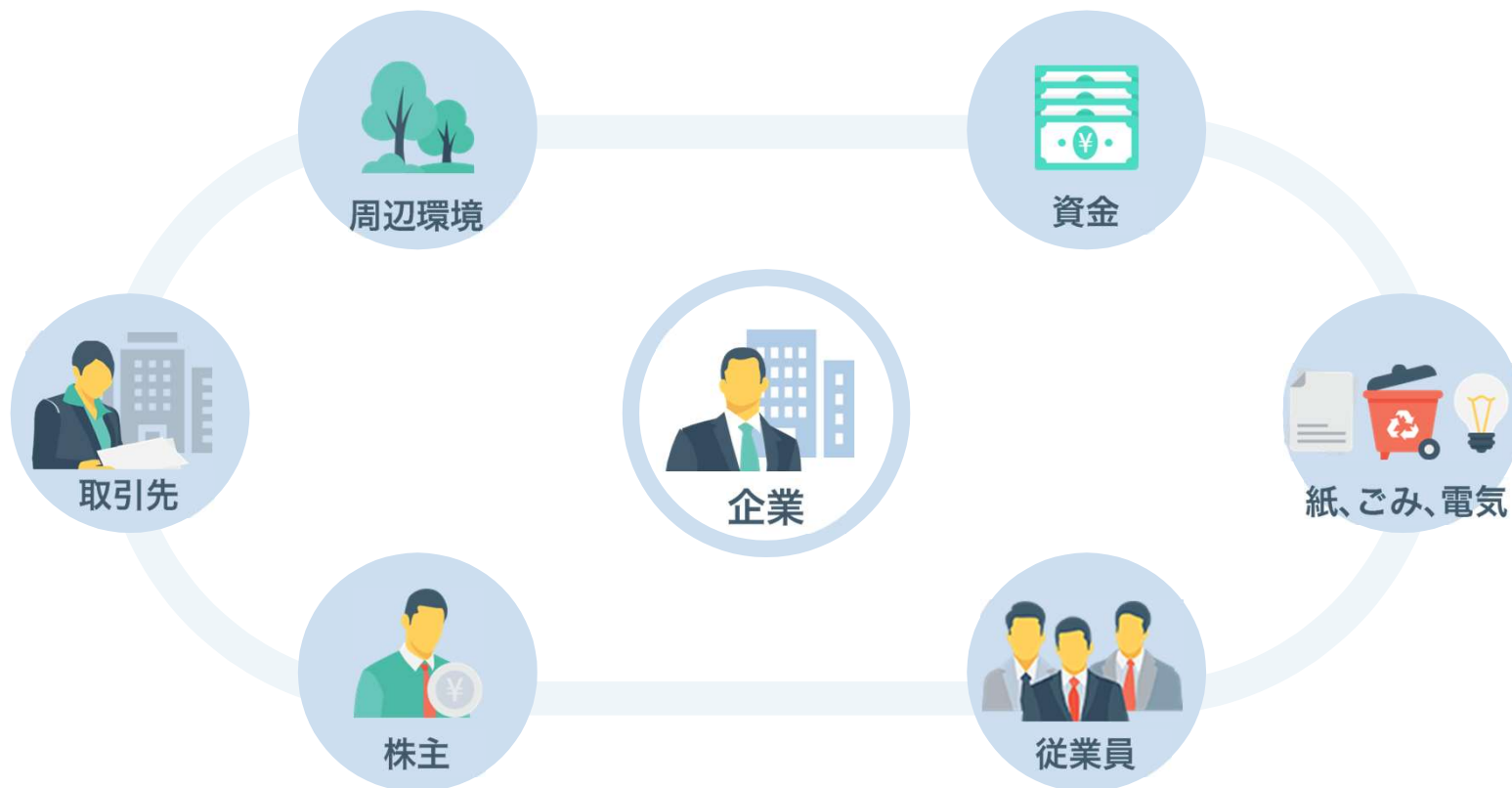
製造業、建設業などでは**ISO9001(品質)**、**ISO45001(労働安全衛生)**と一緒に取得されることが多いです。

ISO14001認証取得と組み合わせることで、**入札や経営事項審査の更なる加点になったり、お客様や取引先からの信用が格段にアップする**などのメリットがあります。



環境マネジメントシステムの環境って何!?

企業を取り巻く要素、すべてが環境



Comment

組織の目指す方向と一致した“環境”に対して
目標や活動内容を設定することが重要です。

- 1 ISOとは
- 2 ISO9001とは
- 3 ISO14001とは
- ▶ 4 **ISO22000とは**
- 5 ISO27001とは
- 6 ISO45001とは
- 7 ISO取得までの流れ、スケジュール
- 8 ISO取得に必要なコスト
- 9 審査機関について
- 10 お問い合わせ先

ISO22000とは？

国際標準化機構による規格

ISO22000

食品安全
マネジメントシステム

=

安全な食品を製造するための
仕組みを評価するもの



Comment

最終目標は「安全な食品を製造すること」。
HACCPの手法をベースに、危害要因の管理を継続的に
改善し、食品安全の向上を目指します！

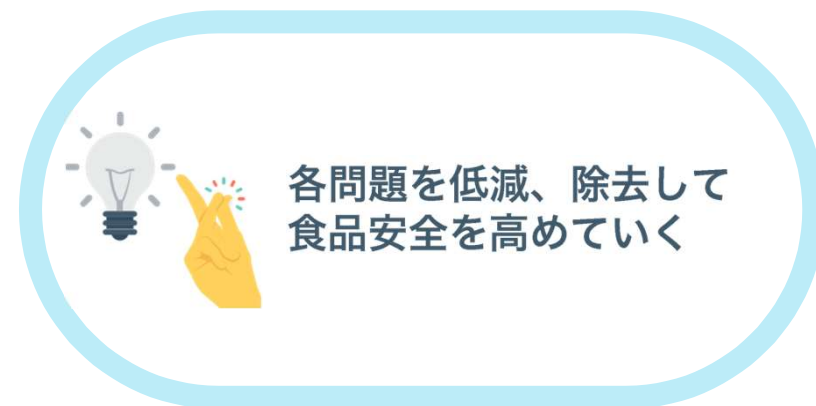
FSMS(食品安全マネジメントシステム)とは？

組織を動かすための仕組みのひとつ

FSMS
食品安全
マネジメントシステム

=

食品安全の改善を目指す
管理する仕組み



Comment

FSMS = 食品安全を向上させるための管理する仕組み

ISO22000 = 食品安全を向上させるための管理システムの要件について国際的ルールを定めたもの

FSMSは仕組み、仕組みのルールは要求事項、仕組みのルールを定めたものがISO22000です。

ISO22000取得の効果

認証取得の効果

- ✓ 食品の安全な提供に関するリスクの低減
- ✓ 法令順守(コンプライアンス)の推進
- ✓ 業務効率の改善や組織体制の強化
- ✓ 海外企業を含む取引要件の達成
- ✓ 仕事の見える化による業務継承の円滑化
- ✓ 継続的な改善による企業価値の向上

 Comment



ISO22000認証取得をすることで、社会的信頼、
対外的アピール、顧客満足向上に繋がる効果を発揮します。🌟👍



ISO22000はどんな業種が取得しているの？

ISO22000を取得する主な業種



食品製造業



農業



食品包装造業



食品流通業

食品関連のあらゆる業種で取得されている



ISO22000と一緒に取られる規格



食品製造業



農業



食品流通業

ISO9001

品質マネジメントシステム

食品製造業などではISO9001（品質）と併せて取得されることが多いです。
ISO22000は基本的には食品安全に特化した規格であるため、併せて取得することで自社で扱う食品や製品、サービスの品質が保証されたものであることを対外的に示すことができます。

またISO22000取得に上位規格であるFSSC22000取得を目指す企業もあります。



FSMS規格誕生の背景

2005



ISO9000(品質マネジメント規格)を食品産業用に特化させた規格として誕生

HACCPを
軸とした規格
※セクター規格

2018



FSMS:2018年度版としてアップグレード

2018年度版では、HLS(すべてのマネジメントシステムに共通の構造やテキストなど)の適用だけでなく、食品安全に関する再定義や明確化がなされ、より食品安全に特化した規格となっています。(2021年6月までに更新の完了が必要)

2019



認証件数がHACCPの義務化を受け増加

ISO22000 : 1363件

FSSC22000 : 1859件

※2019年3月現在(公開分)

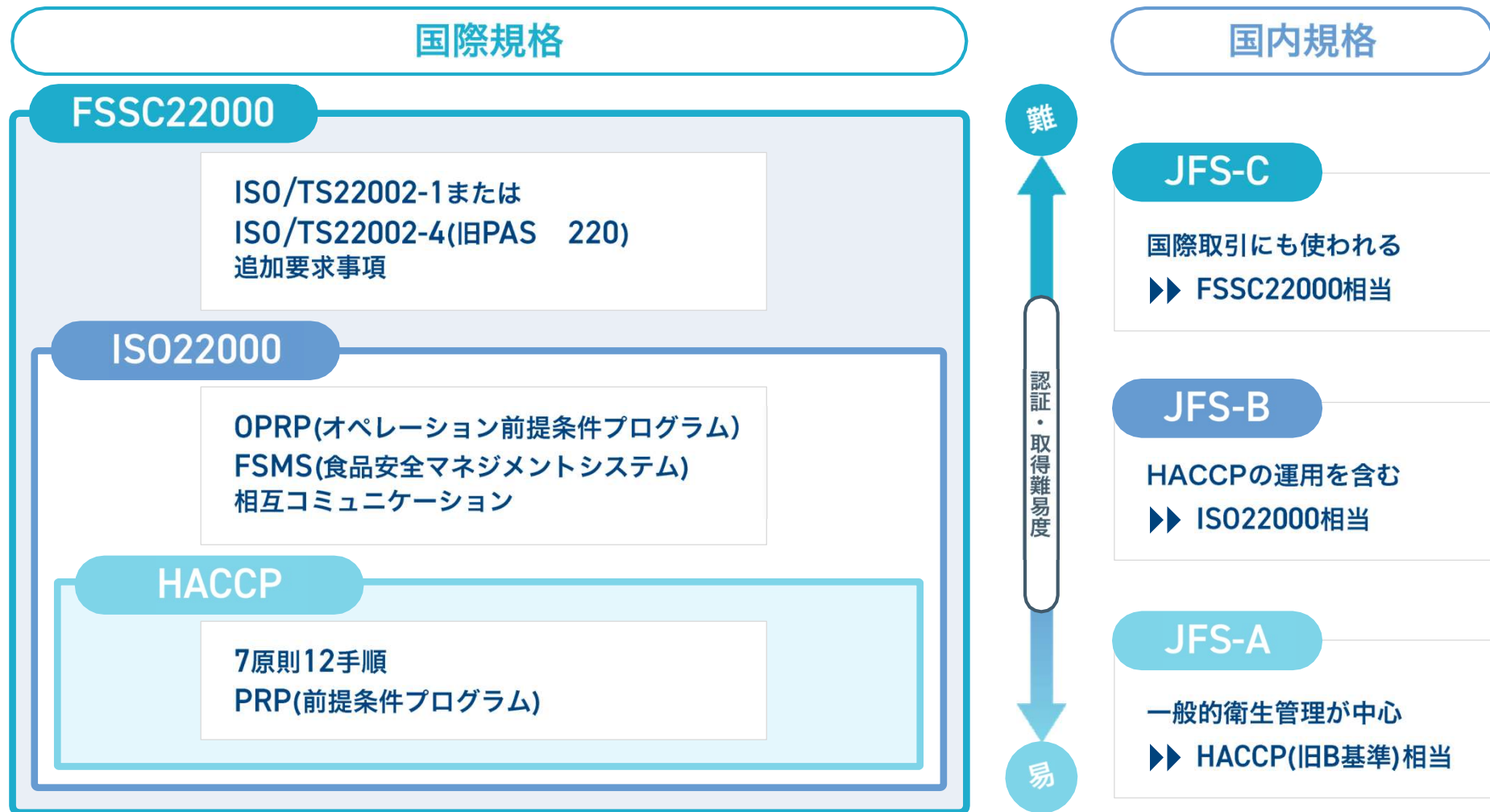
食品製造業のみならず、流通企業でも取引条件にISO22000やFSSC22000を求める動きが目立つ。

Comment

FSMS(食品安全マネジメントシステム)は、ISO9000を母体として食品産業に特化して誕生しました。**HACCP管理を中核として、それを推進する経営マネジメントを要求しており、食品関連企業の中核的要求規格です。**

※セクター規格…ある特定の業種や部門に特化したマネジメントシステム規格

食品安全に関わる認証・規格



Comment

ISO22000 = HACCPを核とした食品安全マネジメント規格

FSSC22000 = ISO22000をベースに追加要求事項が増え、より高度の食品製造環境を求める

JFS-A～C規格 = 日本版ISO22000。要求項目により、一般的衛生管理を中心としたA規格から要求事項の高いC規格と3区分に分かれます。

- 1 ISOとは
- 2 ISO9001とは
- 3 ISO14001とは
- 4 ISO22000とは
- ▶ 5 **ISO27001とは**
- 6 ISO45001とは
- 7 ISO取得までの流れ、スケジュール
- 8 ISO取得に必要なコスト
- 9 審査機関について
- 10 お問い合わせ先

ISO27001とは？

国際標準化機構による規格

ISO27001

情報セキュリティ
マネジメントシステム

=

情報資産の「機密性」「完全性」「可用性」
を保つための仕組みを評価するもの



Comment

最終目標は「情報資産を守ること」。
「機密性」「完全性」「可用性」のバランスが取れた管理を
することで、情報資産を最適な状態で守ることを目指します！

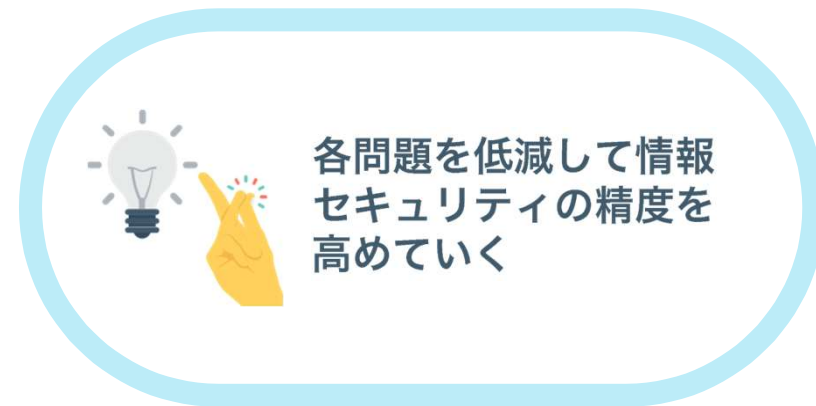
ISMS(情報セキュリティマネジメントシステム)とは？ ISOプロ

組織を動かすための仕組みのひとつ

ISMS
情報セキュリティ
マネジメントシステム

=

情報セキュリティのリスク低減を
実現するための管理する仕組み



Comment

ISMS＝情報セキュリティのリスクを低減するための管理する仕組み

ISO27001＝情報セキュリティのリスク低減のために管理システムの要件について国際的ルールを定めたもの

ISMSは仕組み、仕組みのルールは要求事項、仕組みのルールを定めたものがISO27001

ISO27001 取得の効果

認証取得の効果

- ✓ 情報リスクの低減
- ✓ KPI（キーパフォーマンス指標）の管理
- ✓ 社員の情報セキュリティ意識・モラルの向上
- ✓ 継続的な改善による企業価値の向上
- ✓ 業務効率の改善や組織体制の強化
- ✓ 組織内外からの信頼獲得
- ✓ 法令順守（コンプライアンス）の推進
- ✓ 海外企業を含む取引要件の達成

 Comment



ISO27001 認証取得をすることで、社会的信頼、
対外的アピール、顧客満足向上に繋がる効果を発揮します。🌟👍



ISO27001はどんな業種が取得しているの？

ISO27001を取得する主な業種

機密情報を
扱う企業が
多い



ITサービス業



運送業



廃棄物処理業

IT企業が圧倒的に多い



ISO27001と一緒に取られる規格



ITサービス業



運送業



廃棄物処理業

ISO9001

品質マネジメントシステム

ISO27017

クラウドセキュリティ

ISO27018

クラウドセキュリティ
(個人情報)

ISO14001

環境マネジメントシステム

Comment

ITサービス業などでは、**ISO9001(品質)**、アドオン規格である**ISO27017**、**ISO2018**と一緒に取得されることが多いです。また最近ではPマークのISO版、**ISO27017**にも注目が集まっています。

ISO27001認証取得と組み合わせることで、**入札の更なる加点になったり、お客様や取引先からの信用が格段にアップする**などのメリットがあります。



ISMSの三大要素

“不正アクセスされない”だけが情報セキュリティじゃない！



ISMSの三大要素

機密性



情報が漏れないように
管理する

完全性



情報を正確で最新な状態で
管理する

可用性



使いたいときに使える状態で
管理する

Comment

情報セキュリティとは「情報にアクセスしたい人がアクセスしやすく、情報にアクセスしてはいけない人がアクセスできない状態を作り、その情報が正しい情報を保つ」ことを指します。



Comment

ISO27001=機密性、完全性、可用性のリスク低減が目的の国際規格

Pマーク=漏えい、滅失、毀損のリスク低減が目的の国内規格

ISO27017=クラウドセキュリティに特化した国際規格

ISO27018=個人情報を含む、クラウドセキュリティに特化した国際規格



ISO27001のアドオン規格の登場



クラウドサービスが急速で拡がる中、ISO27001だけではクラウドセキュリティをカバーしきれなくなってきた

そこで!!

クラウドサービスの提供や利用に対して適用される
クラウドセキュリティの認証規格の誕生

クラウドセキュリティに特化

ISO27017

Amazon、Googleの認証取得で世界的に注目を集めている

個人情報を含む、
クラウドセキュリティに特化

ISO27018

技術的見地からの対策を重視している点でPマークと異なる

PマークのISO版
個人情報保護に特化

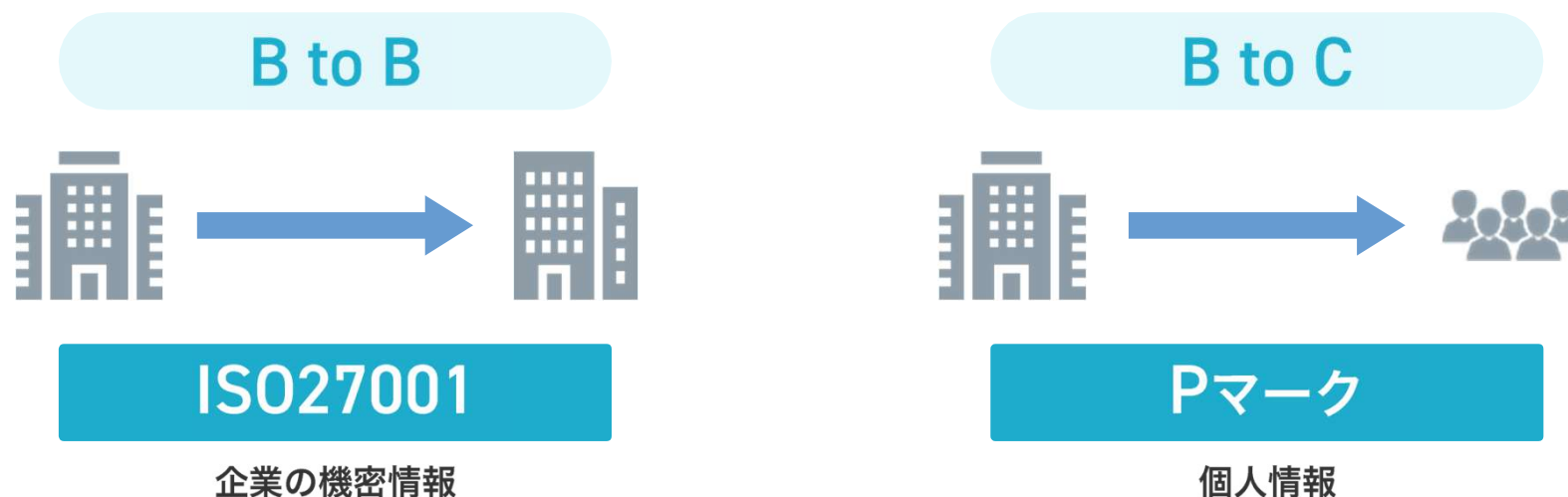
ISO27701

やることが決まっているPマークよりも柔軟度が高く注目され始めている

自社の事業特性を考慮し、取得する企業が増えてきている



ISO27001とPマークどちらを取った方がいいの？



自社の状況にあった認証規格を取得しましょう

Comment

取引先や入札要件でどちらか明確に提示されている場合は、そちらを取得すると良いでしょう。

扱う情報の種別が**企業の機密情報**か、**個人情報**かによっても取得する規格を選択することができます。

- 1 ISOとは
- 2 ISO9001とは
- 3 ISO14001とは
- 4 ISO22000とは
- 5 ISO27001とは
- ▶ 6 **ISO45001とは**
- 7 ISO取得までの流れ、スケジュール
- 8 ISO取得に必要なコスト
- 9 審査機関について
- 10 お問い合わせ先

ISO45001とは？

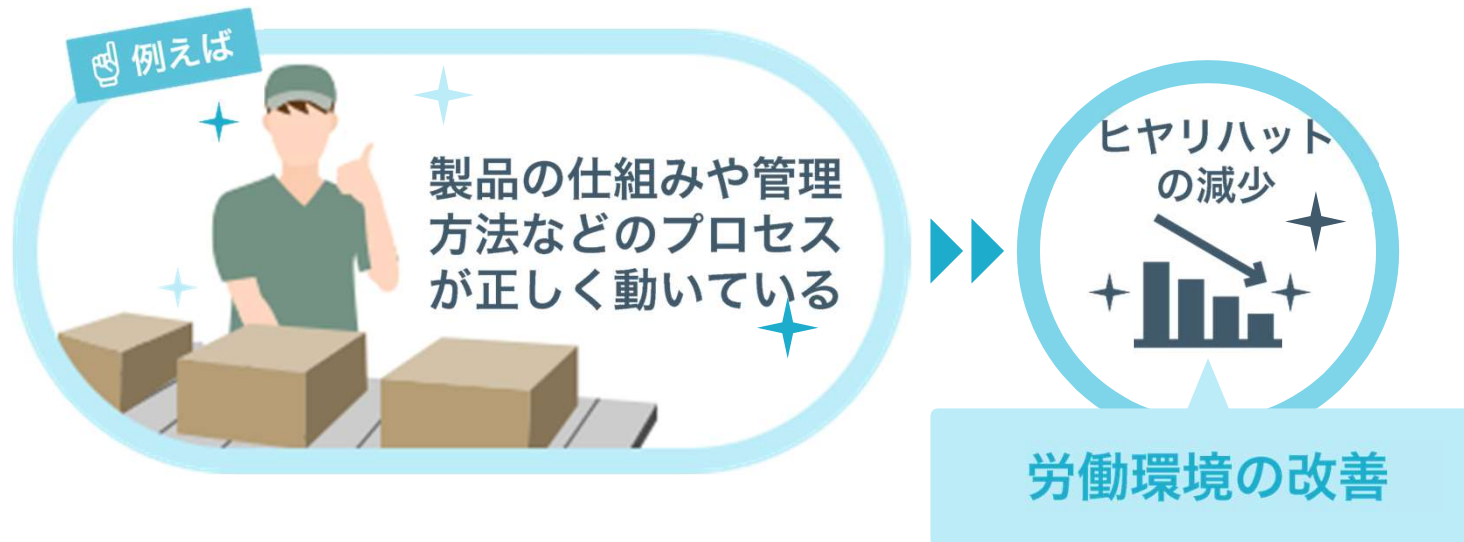
国際標準化機構による規格

ISO45001

労働安全衛生
マネジメントシステム

=

労働災害など、危険源を排除する
ための仕組みを評価するもの



Comment

最終目標は「**組織が独自に労働環境を改善すること**」。
労働安全衛生に関する法令や要求事項を順守し、労働環境を
継続的に改善し、職場の健康と安全の向上を目指します！

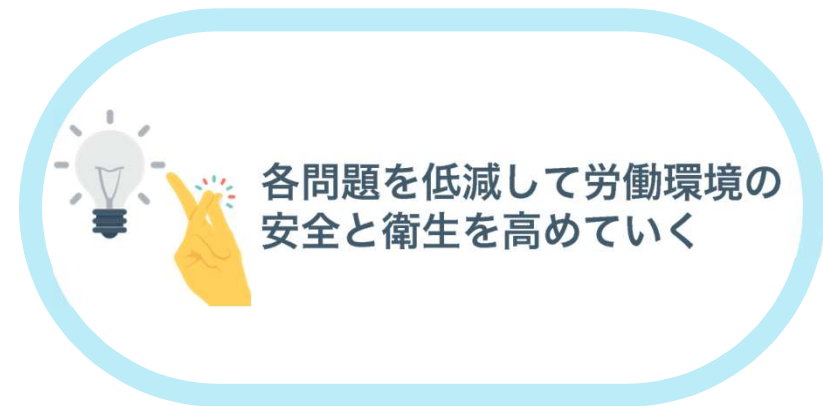
OHSMS(労働安全衛生マネジメントシステム)とは？

組織を動かすための仕組みのひとつ

OHSMS
労働安全衛生
マネジメントシステム

=

労働安全衛生への影響を認識し
改善するための仕組み



Comment

OHSMS (品質マネジメントシステム) = 組織の労働環境を認識し改善する仕組み

ISO45001 = 組織の労働環境を認識し改善するための仕組みの国際的ルールを定めたもの

OHSMSは仕組み、仕組みのルールは要求事項、仕組みのルールを定めたものがISO45001です。

ISO45001 取得の効果

認証取得の効果

- ✓ 従業員の満足度やモチベーション向上
- ✓ 良好な職場環境の構築
- ✓ 社会的信頼の獲得
- ✓ 継続的な改善による企業価値の向上
- ✓ 海外企業を含む取引要件の達成、企業競争力の強化
- ✓ 法令順守(コンプライアンス)の推進
- ✓ 企業競争力の強化
- ✓ リスクマネジメント

 Comment



ISO45001 認証取得をすることで、リスク低減、安全に対する意識向上、生産性の向上に繋がる効果を発揮します。🌟👍



ISO45001はどんな業種が取得しているの？

ISO45001を取得する主な業種



建設業



製造業

危険な場所での
業務がある企業

今後サービス業で取得するところが出てくるかもしれません！



ISO45001と一緒に取られる規格



製造業



建設業

ISO9001

品質マネジメントシステム

ISO14001

環境マネジメントシステム

Comment

製品などの品質や環境に配慮しないといけない企業である製造業や建設業などでは、**ISO9001(品質)**や**ISO14001(環境)**が一緒に取得されることが多いです。



OHSAS18001 とは何が違うの!?

どちらも労働安全衛生に関するマネジメント規格

2018年
以前から
存在

OHSAS18001

旧労働安全衛生に関する
マネジメント規格

2021年
3月



廃止！認証無効！



OHSAS18001 認証企業

2018年
発行

ISO45001

大筋はOHSAS18001同様
文言などが他のISO規格と統一
される

現在も有効！



ISO45001 認証企業

**ISO45001への
移行審査が必要**

- 1 ISOとは
- 2 ISO9001とは
- 3 ISO14001とは
- 4 ISO22000とは
- 5 ISO27001とは
- 6 ISO45001とは

▶ 7 ISO取得までの流れ、スケジュール

- 8 ISO取得に必要なコスト
- 9 審査機関について
- 10 お問い合わせ先

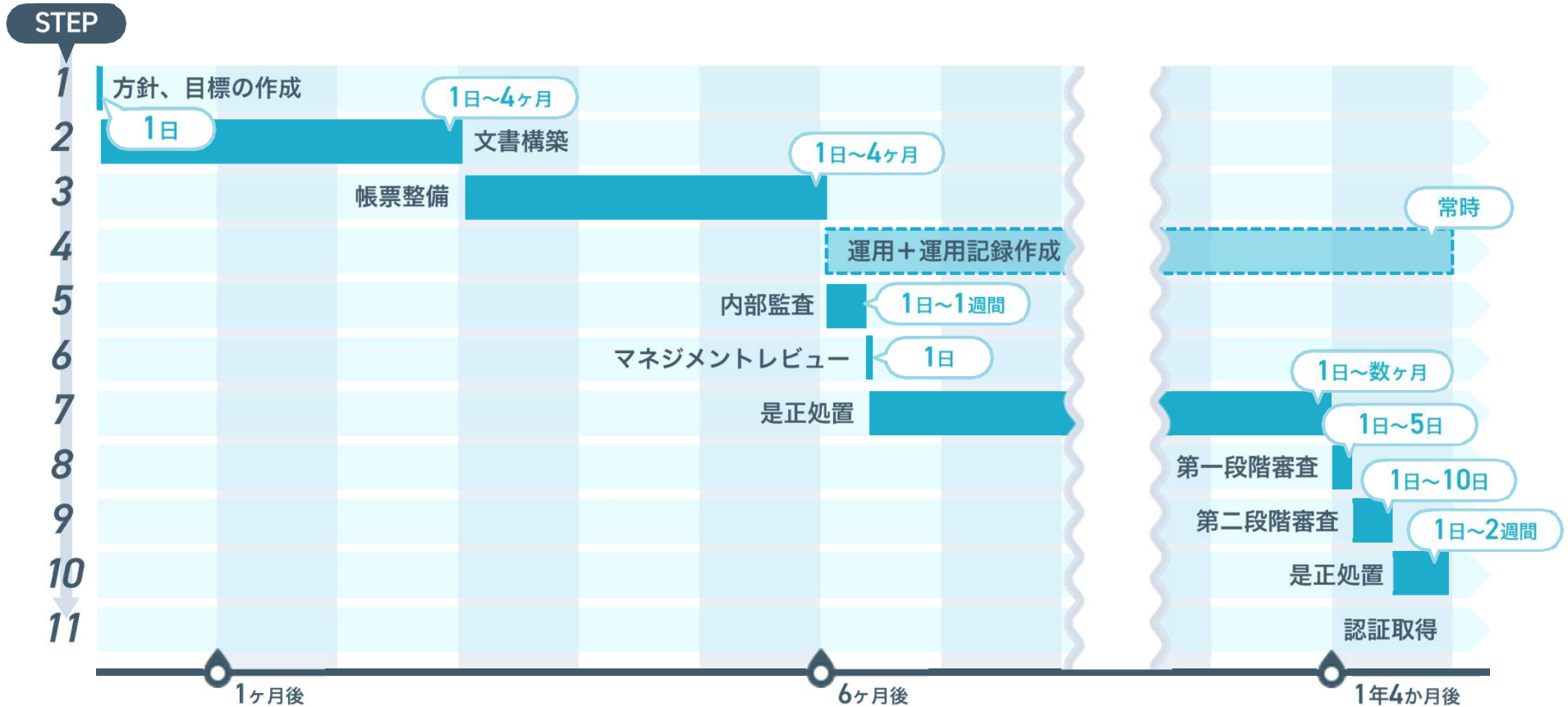
ISO取得までの流れ

STEP

1	方針、目標の作成	組織の基本的な方針、基本的な目標と整合性のとれた具体的かつ計測可能な目標を設定。
2	文書構築 (マニュアル、手順書等)	「マネジメントシステムの適用範囲の決定」などの要件を満たす文書を作成。
3	帳票整備	見積書や仕様書など現場で使用する帳票のフォーマットの整備や保管、変更の管理方法などを決定。
4	運用+運用記録作成	目標の達成を確実にする計画を実行し、マネジメントシステムを運用していく。
5	内部監査	組織内部の人間によってマネジメントシステムを評価する監査を行う。
6	マネジメントレビュー	トップマネジメントが内部監査の結果に基づいてマネジメントシステムの評価を行う。
7	是正処置	マネジメントレビューなどの結果、不適合があった場合原因を除去し、再発防止策を決める。
8	第一段階審査(文書)	是正処置完了、マネジメントシステム運用の後、マニュアルや手順書が要求事項を満たしているかどうか確認する。
9	第二段階審査(現地)	第一段階審査で、文書類が要求事項を満たしていた場合実施。第二段階審査では第一段階審査で提出した文書類をもとに現地審査を行う。
10	是正処置 (該当する場合)	審査の結果、不適合とされた場合、マネジメントシステムの是正を行う。 是正完了後は登録待ち。
11	認証取得	審査が通過すれば、 ISO認証の取得



ISO取得までのスケジュール例



トータルで
1年4ヶ月程度で取得できます!

※従業員50名程度の企業でコンサルタントが関与せず自社取得する場合の一例です
 ※大企業では「プロジェクトチームの結成」「キックオフ宣言」に1ヶ月かかることもあります
 ※「運用+運用記録作成」は常時行います
 ※取得までにトータルで数年かかることもあります

Comment

会社
規模

適用
範囲

優先度

自社
取得

コンサル
依頼

取得に掛かる時間は
さまざまな要因で大きく
変わります!

- 1 ISOとは
- 2 ISO9001とは
- 3 ISO14001とは
- 4 ISO22000とは
- 5 ISO27001とは
- 6 ISO45001とは
- 7 ISO取得までの流れ、スケジュール
- ▶ 8 **ISO取得に必要なコスト**
- 9 審査機関について
- 10 お問い合わせ先

ISO取得コスト

取得に掛かる費用

掛かる費用は大きく分けてこの3つ

審査機関



- ・取得審査の費用
- ・定期審査の費用
- ・更新審査の費用

コンサルタント



- ・アウトソースの費用

忘れては
いけない

自社リソース



- ・本業に割ける時間減少
による生産性の低下

Comment

「取得時期」や人件費などの「目に見えないコスト」も踏まえて、
総合的に“どこにコストを掛けるか”を判断する必要があります。

コスト：社内リソース



Comment

ISO運用事務局は**2名以上が理想的**です。
事務局に何人必要という決まりはありませんが、文書作成の責任者と内部監査責任者の2名は基本的に必要です。



費用を抑えるならアウトソーシング

ISO認証取得の費用イメージ



上記はあくまで一例です。詳しい計算式はWEBページへ >> [ISO取得・運用支援 コンサルティング サポート内容](#)

気になる自社取得の3ポイント

- 1 人件費**… ISOを担当するのは人件費の高い社内の主要人材であるケースが多い
- 2 取得までの期間**… ISOに不慣れ、営業活動優先の兼務の場合、取得まで時間を要する
- 3 見えない損失**… 自社人材が営業活動に専念できた場合に、生まれていただであろう売上・利益の損失

コスト：審査費用

審査に関わる費用

取得審査費用

初年度に取得する際の審査費用（初回）

定期審査費用
(サーベイランス費用)

運用ができているかの定期審査費用（1年毎）

更新審査費用
(再認証審査費用)

ISO認証の更新に必要な審査費用（3年毎）



ISO認証のためには、審査機関の審査を受ける必要があり、審査に関わる費用は毎年発生します。



審査費用は何で決まる？

適用範囲

複数拠点ある場合、
1 拠点に絞ることも可能



人数



審査に掛かる工数や日数が変わる = 審査費用が変わる！

コンサルタント費用を決める要因

費用を決定する要因



これらの要因で費用が大きく変わります！

Comment

極端に安いところは注意が必要！

不要なトラブルに巻き込まれないように、依頼前に業務内容、実施内容は必ず確認しましょう！

コンサルタント依頼のメリット



ISOの確実な取得

ISOの知見のある担当がサポートするため、何も分からない状態でもISO規格の要求事項をみたしたマネジメントシステムの構築が可能。
認証審査に落ちる可能性は限りなく低くなります。



取得時間の短縮

知見のない状態で自社で構築するよりも、進行がはるかに効率的に。コンサルタントを上手に使うことで通常1年以上掛かるところを、半年程度の短縮期間で取得可能に。



社内工数の削減

社内工数は全くのゼロにはなりませんが、大幅な削減ができる。そのため本業に集中できるなどの相乗効果も見込めます。

※後述のコンサルタントの種類によって変わります

Comment

社内工数（人件費）とコンサルタントの費用を
天秤にかけて判断してみましょう。





ISOのコンサルタントにも種類がある!?

コンサルタントのタイプ

事務局型

コンサルティング会社が予め用意した文書や記録の雛形を使用し、会社の実情に沿った文書作成を行う
社内リソースが限られる中小企業に
おすすめのタイプ

メリット

- ・費用が比較的安い
- ・スピーディーな取得
- ・自社の一員として文書作成も実施

デメリット

社内の担当者が無関心の場合、丸投げの運用となり、改善に繋がりにくくなる

指導型

ISOの規格要求事項を事細かに指導し、ISOの要求以上の指導を行うこともある
社内リソースが豊富な大企業に
おすすめのタイプ

メリット

ISOの要求事項について、豊富な経験から指導してもらえる

デメリット

文書作成は自社で行わなければいけないため、社内工数が大きくなる



Comment

ISOは取得したら終わりではありません。

取得後に「どう活用したいか」でコンサルタントを選定することが重要です。それを相談できるコンサルタントだと尚良いでしょう。

**実績も確認
しましょう!!**

- 1 ISOとは
- 2 ISO9001とは
- 3 ISO14001とは
- 4 ISO22000とは
- 5 ISO27001とは
- 6 ISO45001とは
- 7 ISO取得までの流れ、スケジュール
- 8 ISO取得に必要なコスト

▶ 9 審査機関について

- 10 お問い合わせ先

審査機関・認定機関とは

認定機関

審査機関にISO審査をして
いいと認可を出す機関



ISO審査の実施を許可

許可されると認定機関の
ロゴも使用可能に

審査機関

ISO認証に適合しているか、
有効に機能しているかを
審査する機関



日本国内で活動しているISO審査機関は70社ほど

審査機関による違い



審査できる規格

ISO9001（品質）の審査はできるが、ISO22000（食品安全）の審査はできないなど



審査時の指摘箇所・数

実務的に有意義な指摘を出されることもあれば、規格のための指摘を出されることもある



工数の違いによる費用感

1工数あたりの単価が異なる。付随する費用が発生する場合もある



実際に見積もりを取ったり、審査を受けるまで分からない

Comment

外部環境、自社環境、取得要因を踏まえて、
自社にあった審査機関を選定することが重要です！

事前にしっかりと
情報収集をしましょう



審査機関で対応できる業種が違う!?

審査機関は、審査するために**業種コード**を取得している



E09：食料品製造業
E15：印刷・同関連業
E19：ゴム製品製造業



G37：通信業
G39：情報サービス業
J62：銀行業



D06：総合工事業
D08：設備工事業
K68：不動産取引業

◎審査可能

×審査不可

×審査不可



食料品製造業



対象の業種コードを取得
していないと審査ができない！

Comment

審査機関には、**審査することができる業種を決めるコードが存在します**。
そのコードを保有していなければ、**ISO9001の審査はできるが〇〇業は審査できない**ということがあります。
ちなみに、コードを1つ取得するために、数百万円～数千万円掛かるといわれています。
審査機関も会社のため、顧客を逃したくないことから、プライベート認証というものを行っている場合もあります。
審査機関が独自に認証するというものであり、正式なISOではないため、大抵的な信頼は通常の場合より劣ります。※業種コードについては、業種コード表（日本標準産業分類）参照



審査機関の工数って何!?

工数とは

1工数＝審査員が1日かけて審査を行うこと

※審査機関の工数は審査機関にかかる費用に直結

適用範囲が広く、2日掛かると費用が高くなる という仕組み



業種：建設業
1事業所 20名

1次審査：1工数
2次審査：2工数



審査費用

3工数×工数単価



業種：製造業（プレス加工）
2事業所 総員20名

1次審査：2工数
2次審査：4工数



6工数×工数単価

審査機関によっても、工数単価は異なる

- 1 ISOとは
- 2 ISO9001とは
- 3 ISO14001とは
- 4 ISO22000とは
- 5 ISO27001とは
- 6 ISO45001とは
- 7 ISO取得までの流れ、スケジュール
- 8 ISO取得に必要なコスト
- 9 審査機関について

▶10 お問い合わせ先

お問い合わせ先



各種ISO・HASSPの取・運用サポート

excell

☒ 全国対応可能です ☒

株式会社excell(エクセル)

〒170-6045

東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 45階

平日10:00-19:00

TEL0120-400-971

info@excell.ltd

ISO取得概算コスト無料算出サービス実施中！

ISOプロお勧め審査機関複数社での相見積もりも無料実施！

- ・ 企業名
- ・ 規格(ISO9001、ISO14001、ISO27001など)
- ・ 適用範囲としたい事業所名、所在地、配属従業員数(パート含む)
- ・ 業種、業務内容

左記をお知らせ下さい。
詳しくはお問合せ下さい！